

足立区議会議員・無所属

市川おさと

未来の常識を、足立区からつくる!

わたしが区議会議員としてもっとも重視しているのは、住民の命を守ることです。災害や犯罪・事故から、どう命を守るのか、区議会議員として一番大事な仕事です。

区議会3期目の今期は、4年連続で建設委員会所属となり、住宅耐震化について特に力を注いできました。

また、次の世代を大切に育てるためにも、待機児童解消へ具体的な提案をし、実現に向けて動き始めています。

さらに、平成27年度から、バリアフリー基本構想が具体化していきます。駅周辺がターゲットになります。都市基盤がグレードアップしつつある今だからこそ、大事な施策です。12年前、バリアフリーの黎明期に、自分の経験と力を足立区のために使いたい、と立候補しました。まさにわたしの初心です。この流れをいっそう確かなものにするのが、自分の使命だと考えています。

開発が福祉か、という対立の視点ではなく、開発の中に福祉の視点をしっかりと反映させます。大学も、大学病院も、都市基盤が整った足立区だからこそ進出してくるのです。

未来の常識を、足立区からつくる。そんな思いで、これからも頑張ります!

市川おさと

待機児童解消に向けて。 環境整備基準42条改正を!

3つの認可保育園が来年4月から開設へ!

<千住龍田町> 定員80名

<千住緑町> 定員80名

<新田> 定員60名

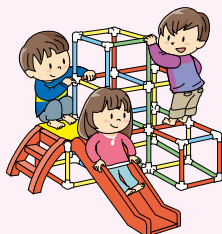
合計
220名増!

一方、マンション建設に伴う保育需要の増大が課題となっています。

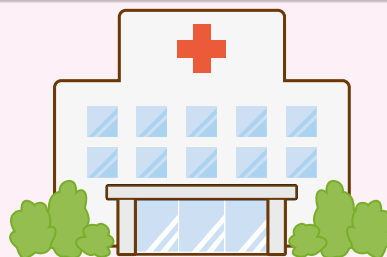
わたしは、開発事業者に応分の負担を求めるため、環境整備基準42条の改正(規制強化)を求めています。現行の条文は「施設の設置について区と協議する」ことを定めているだけで、強制力がありません。

税金を使って保育所を整備するのが当たり前、という従来の考えから、一歩進んだ議論を進めています。わたしの主張を受け、区側も規制強化へ動き始めています。

また、大規模な商業施設や病院など、働くお母さんが集まりやすい施設に事業所内保育を推進します。



大学病院誘致について。



2月に、荒川区議会で、荒川区西尾久にある東京女子医科大学東医療センターが足立区に移転を検討していることが明らかになりました。荒川区長や多くの荒川区議会議員は反発をしています。一方、足立区では、日暮里・舎人ライナー江北駅近くの江北四丁目アパート建替に伴う余剰地に大学病院誘致の交渉を進めていると、以前から議会で答弁をしています。東京女子医科大学東医療センターは、三次救急や周産期医療にも対応した本格的な総合病院です。この話をなんとか実らせませう。

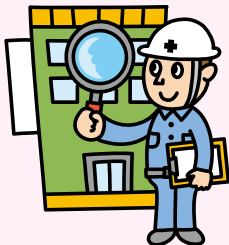
ただ、荒川区対足立区、という構図にしてしまっては絶対にいけません。

荒川区、足立区、葛飾区、川口市、草加市といった近隣自治体全体の医療水準を向上させる視点こそが大切です。

阪神大震災・東日本大震災の教訓を 足立区に生かします。

阪神大震災の死者の95%は、耐震性が劣った建物が原因でした。大震災から命を守るために、最も重要なのは住宅の耐震化です。現在、足立区の住宅の耐震化率は80%程度です。

→耐震化率100%へ向け、耐震改修工事、解体除却工事への助成を推進します。特に平成27年度は復興税を活用し助成が増額される最後の年です。



東日本大震災では、障害者の死亡率はそれ以外の人の死亡率の2倍でした。→情報保障を強化し、みんなの命を守ります。

外国人や知的障害者、子供にも直接伝わる「やさしい日本語」を防災情報に導入させます。聴覚障害者宅への火災報知機と屋内信号装置の普及、公共施設や商業施設に光警報装置を普及させます。



オウム断固反対！

地域と連携して、反対運動を継続します。また、自治体が団体の活動内容を把握しやすくなるよう、団体規制法改正にも取り組みます。

絶対あきらめない！と、強い気持ちで臨みつつけます！

駅周辺の開発に、バリアフリー、 ユニバーサルデザインの視点を。

バリアフリー基本構想にもとづき、竹ノ塚や西新井、北千住などの駅周辺のまちづくりを推進します。

障害者団体だけではなく、障害者個人の意見をまちづくりに反映させる仕組みを作ります。特に竹ノ塚は丸ごと駅を作り替える大工事であり、障害者の声をしっかり反映させる必要があります。お年寄りやベビーカーを押すお母さん達にも役立つはずです。

西新井駅東西自由通路建設・エスカレーター設置、北千住駅東口

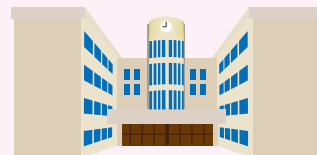
エレベーター新設にも引き続き取り組みます。



文教大学が花畑に来ます！

花畑に進出が決まった文教大学は、小中学校の先生を毎年多数輩出している伝統校です。文教大学がURから買った土地は、東京ドームと同じ広さであり、地域へのインパクトは相当あります。学生数は五千人規模になる可能性が高いです。

今後、足立区との間で、教育を中心に様々な連携事業が期待できます。また、大学進出に合わせて、バス路線等を充実させ、交通利便性を高めます。



愛犬ハヤテと。

市川伯登（47才）プロフィール

足立区議会議員 連続3期当選 無所属。

区議会では建設委員会、子ども施策調査特別委員会所属。

とねり伊藤幼稚園、舎人小学校、入谷中学校、江北高校、早稲田大学法学部卒。

足立区舎人で、父、母、妻、息子と三世代同居。妻は江北高校同級生。

江北会（江北高校OB会）理事。

北朝鮮に拉致された日本人を奪還する地方議員の会幹事。

ご要望・ご質問などはお気軽に！

▶ E-mail ichikawa@ichikawaosato.com

▶ 携帯 090-2908-5626

▶ URL ichikawaosato.com

